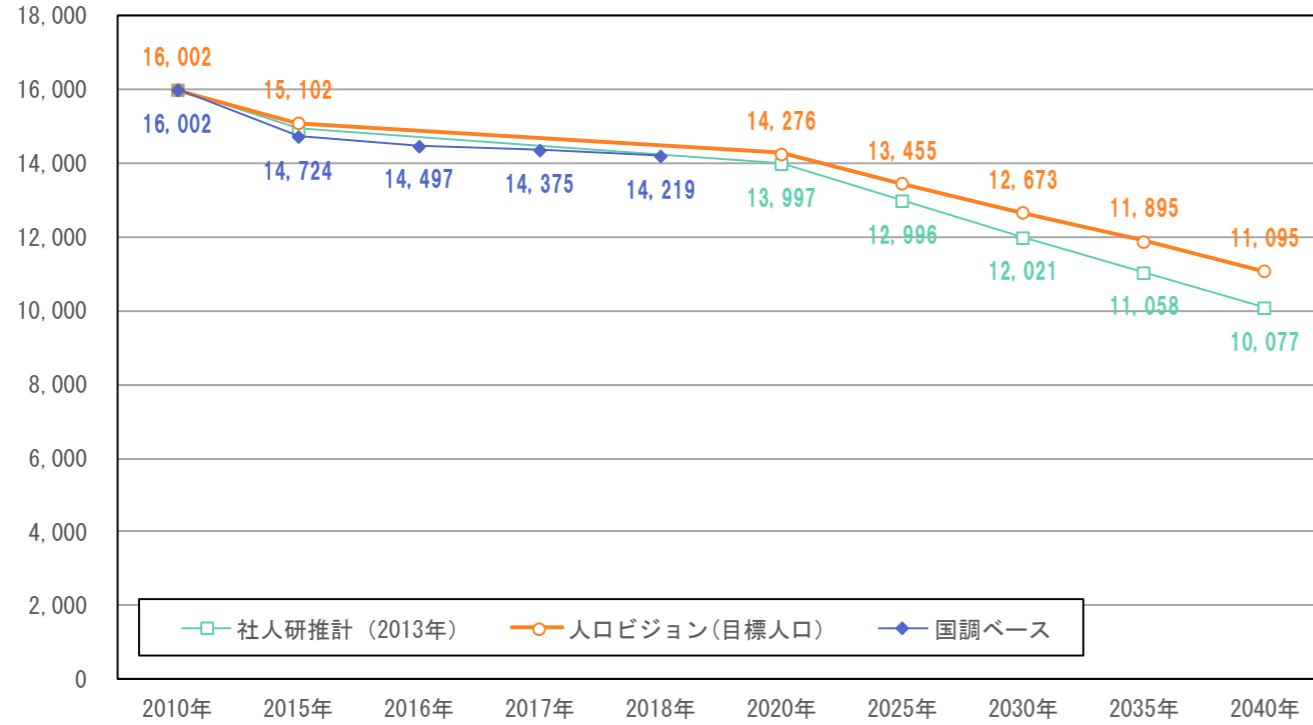


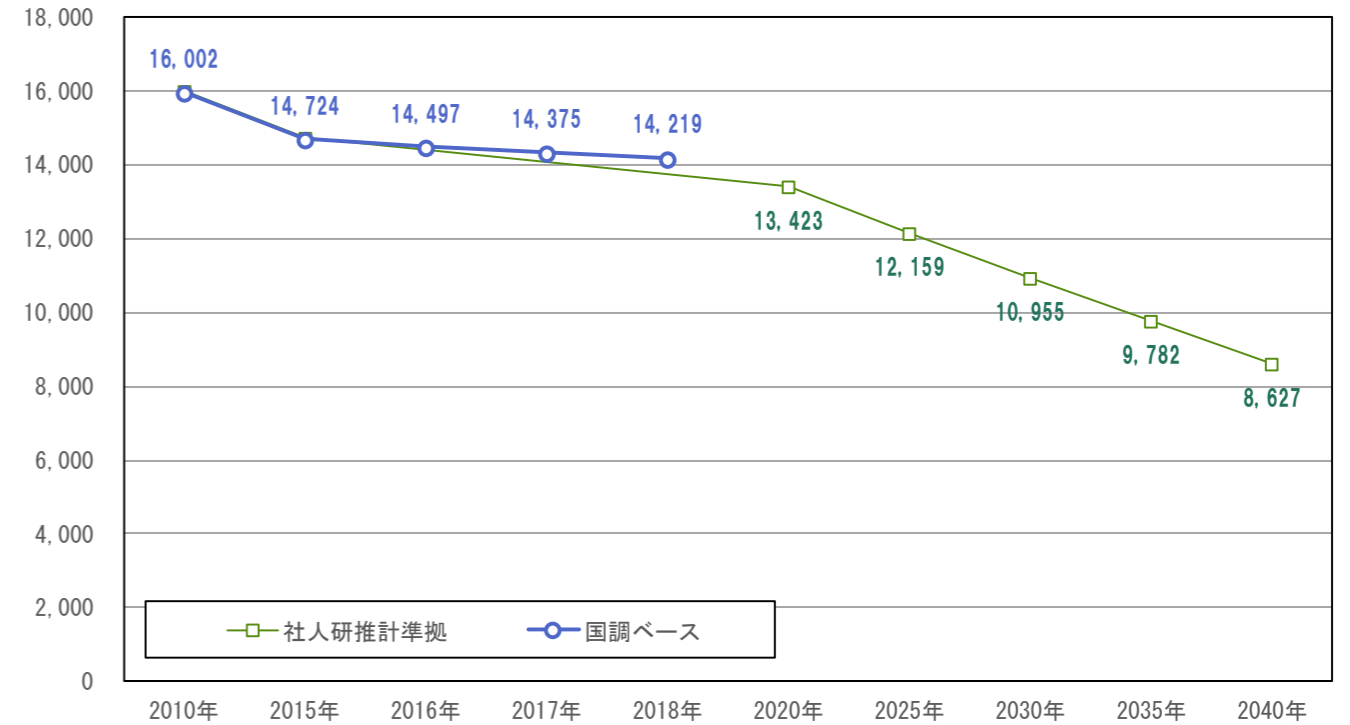
# 多古町 人口動向の現状と将来見通し

### 多古町の人口ビジョン（目標人口）と動向



※社人研推計（2013年）は、国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口（2013年推計）」による。  
 ※国調ベース（各年10月1日現在）は、「千葉県毎月常住人口調査」（直近の国勢調査時の人口に、その後の出生・死亡、転入・転出による人口の増減を加算したもの）による。

### 社人研による見通しと現状



※社人研推計準拠は、国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」による。なお、社人研推計では、推計人口の端数処理が行われていないが、上記では性別・年齢別の整数化処理を行っているため、社人研推計の公表値とは若干異なる場合がある。  
 ※国調ベース（各年10月1日現在）は、「千葉県毎月常住人口調査」（直近の国勢調査時の人口に、その後の出生・死亡、転入・転出による人口の増減を加算したもの）による。

#### 【多古町の人口ビジョン(目標人口)と動向】

- 多古町人口ビジョンでは、2040年の目標として11,000人規模の維持を掲げている。
- 多古町人口ビジョンは、2015年の策定であるが、策定時点では2015年国調人口が明らかになっていなかったため、その2015年値は推計値であり、その後に明らかになった2015年国調人口の14,724人に対し、15,102人と400人程度過大に見込んでいたことになる。

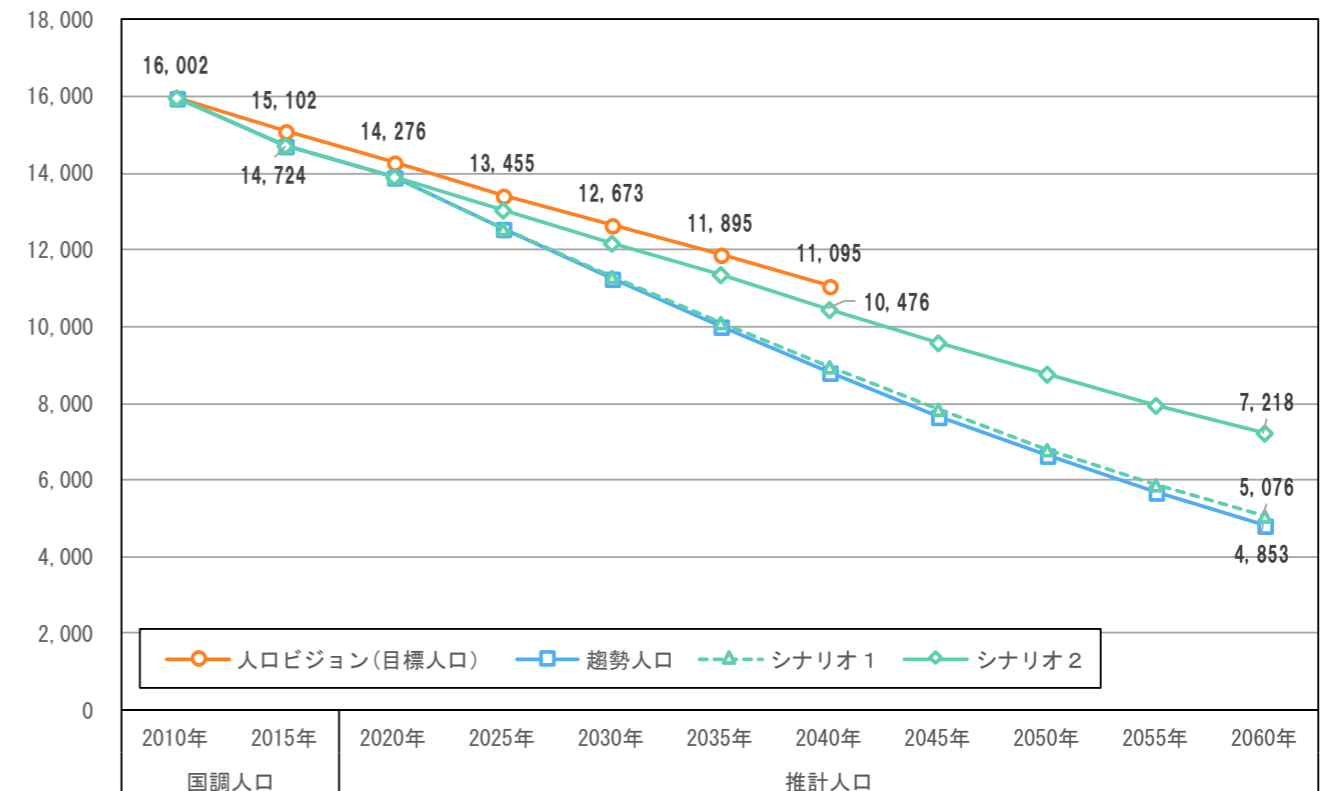
#### 【社人研による見通しと現状】

- 2015年国調人口までを踏まえた社人研推計によると、2020年には13,423人となることを見込まれている。
- 千葉県公表の国調ベース人口では、2018年（10月1日）現在で14,219人となっており、2015年国調以降の人口動向ペースでいけば、2020年には社人研が予測する13,423人を上回る13,890人程度となることを見込まれる。

#### 【多古町の将来人口の見通し】

- 社人研推計をベースに、2020年の人口が13,890人程度となるように補正（移動の改善補正）を行い、これを趨勢人口（特段の人口対策等が講じられなかった場合に想定される将来人口）とする。
- シナリオ1は、趨勢人口をベースに、合計特殊出生率が2040年までに1.80に上昇することを見込んだシミュレーションである。
- シナリオ2は、シナリオ1をベースに、移動についても改善（0～14歳、25～49歳は定住率が5年毎に0.4%上昇、そのほかの年代は5年毎に0.1%上昇）することを見込んだシミュレーションである。

### 多古町の将来人口の見通し



## 第1期多古町総合戦略の評価と第2期多古町総合戦略の構成案

前総合戦略での基本目標ごとの、数値目標の評価は以下の通りです。

※数値目標評価基準 A 目標達成 B 目標に近づいている C 目標から遠ざかっている D 評価不可(実績値なし)

基本目標1 多古町に合った新たな雇用の場を創出する			
基幹産業である農業の振興や地元企業への支援、空港関連企業の誘致等に取り組む			
数値目標	従業者数	評価	従業者数は、平成24年の7,188人から平成31年に7,550人へ、増加することを目標としていましたが、平成28年は7,020人と基準値から減少傾向で推移しています。
	基準値：7,188人(H24)	C	
	目標値：7,550人(H31)		
	実績値：7,020人(H28)		
基本目標2 若い世代が多古町で結婚・子育てしやすい環境をつくる			
交通利便性の向上を図るとともに、町民の結婚や住宅取得、子育ての支援に努める			
数値目標	合計特殊出生率	評価	合計特殊出生率は、平成26年の1.11から平成31年に1.62へ、増加することを目標としており、平成29年では1.23と基準値から増加傾向で推移していますが、目標達成とはなりませんでした。
	基準値：1.11(H26)	B	
	目標値：1.62(H31)		
	実績値：1.23(H29)		
基本目標3 多古町の魅力を高め、定住・移住・Uターンを促進する			
農産物のブランド化や空港に近い立地特性のPRに加え、ふるさと意識の醸成や特色ある教育を推進による本町のイメージアップや郷土愛の醸成を図る			
数値目標	転入者数	評価	転入者数は、平成26年の438人から平成31年に569人へ、増加することを目標としており、平成30年では450人と基準値から増加傾向で推移していますが、目標達成とはなりませんでした。
	基準値：438人(H26)	B	
	目標値：569人(H31)		
	実績値：450人(H30)		
基本目標4 高齢者が元気に暮らせる仕組みを整える			
高齢者の社会参加や健康づくりを支援するとともに、地域での支え合い活動を促進する仕組みを整備する			
数値目標	後期高齢者1人当たりの医療費	評価	後期高齢者1人当たりの医療費は、平成26年の707,647円から増加を抑えることを目標としていましたが、平成30年は795,681円と基準値から増加傾向で推移しています。
	基準値：707,647円(H26)	C	
	目標値：増加を抑える(H31)		
	実績値：795,681円(H30)		

前総合戦略での基本目標ごとの、KPIの評価は以下の通りです。

※KPI評価基準 A 目標達成 B 目標に近づいている C 目標から遠ざかっている D 評価不可(実績値なし)

基本目標	KPI	基準値	目標値	実績値	評価
		平成26年	平成31年	平成30年	
1	農業生産法人数	15社	20社	21社	A
	認定農業者数	133人	150人	136人	B
	製造品出荷額等	447億円	550億円	696億円	A
	誘致事業所数	1事業所	5事業所	5事業所	A
2	空港シャトルバス利用者数	延べ47,606人	延べ60,000人	延べ94,954人	A
	住宅取得奨励金交付事業利用世帯数	26世帯	100世帯	78世帯	B
	多古台分譲済区画数	76区画	128区画	152区画	A
	待機児童数	0人	0人を継続	0人	A
	子育て支援センター利用者数	延べ3,202人	延べ5,000人	延べ5,371人	A
	結婚支援事業実施回数	7回	15回	15回	A
3	道の駅多古の売上高	584百万円	620百万円	547百万円	C
	町内イベント集客数	48,000人	60,000人	52,000人	B
	10代の町に愛着がある人の割合	67.7%(H27)	80%	-	D
	キャリア教育協力企業・団体数	200団体	220団体	61団体	C
	町ホームページのアクセス数	336,888件	400,000件	23,9491件	C
	授業や家庭学習へ積極的に取り組む児童・生徒の割合	69%	80%	84%	A
4	シルバー人材センター登録者数	175人	200人	152人	C
	ボランティア団体数	15団体	20団体	19団体	B
	町民体育館利用者数	延べ20,006人	延べ30,000人	延べ12,657人	C
	いきいき元気塾参加者数	延べ3,901人	延べ13,000人	延べ10,022人	B

### 第2期多古町総合戦略構成案

#### 目標人口・人口の設定

第2期総合戦略の目標人口は以下のように定めることを検討しています。

2025年の目標人口：13,000人

2040年の目標人口：10,000人

合計特殊出生率：2040年までに1.80をめざし、その後維持

人口移動：現在の人口移動をもとに、定住率が

0~14歳、25~49歳は5年毎に0.4%上昇、

そのほかの年代は5年毎に0.1%上昇をめざす

#### 基本目標

基本目標
基本目標1 多古町に合った新たな雇用の場を創出する
基本目標2 若い世代が多古町で結婚・子育てしやすい環境をつくる
基本目標3 多古町の魅力を高め、定住・移住・Uターンを促進する
基本目標4 高齢者が元気に暮らせる仕組みを整える

4つの基本目標としては、現行のまま踏襲することを検討しています。それぞれの数値目標に関しては、目標人口との関連をみつつ、修正を行う予定です。

#### KPI・施策

基本目標1と基本目標4に関しては、数値目標が目標値にむけて進捗がみられないことから、KPI・施策についても再度見直しが必要と考えています。

また、基本目標3に関しては、数値目標としては目標値にむけて進んでいるので、施策や取り組みとしては引き続き取り組んでいく予定としていますが、KPIの評価が低いことから、KPIについては再度見直しを行う必要があるかと検討している段階です。